

(様式1)

平成25年3月23日

長久手市教育委員会御中

資料第8号

申請者

住所 長久手市山桶805

団体 親と子のみどりの杜合唱団

代表者 長江 弘子

連絡先電話番号



後援・推薦名義の使用について（依頼）

下記のとおり行事を開催しますので、後援・推薦名義使用を承認してください。

記

行 事 名	ミュージカル「バックトゥザ・フーちゃん」
行 事 の 目 的	① 東日本大震災・福島原発事故を経て、今の時代に私たちがどう生きていくのか、子どもと大人がともに考え合うミュージカルを、多くの市民とともに創り上演すること。 ② このミュージカル上演を通して、被災地の方々、そして被災地から避難している方々とつながりあい、特に子どもたちが未来への展望を持てるようになっていくこと。
主 催	親と子のみどりの杜合唱団・愛知子どもの平和と幸せを願う合唱団
その他の後援・推薦依頼先	愛知県・名古屋市・長久手市・日進市教育委員会・みよし市教育委員会・東郷町教育委員会・尾張旭市教育委員会・中日新聞
開 催 の 期 日	平成25年10月19日(土)・20日(日)、平成25年1月25日(土)・26日
開 催 の 場 所	長久手市文化の家森のホール(10月)名古屋市芸術創造センター(1月)
入 場 料	大人2000円・子ども1000円(1月公演は800円)
対 象 者	一般市民
前 回 の 開 催 日	平成24年12月1日・2日
内 容	大人と子供有志によるミュージカルの公演

* 新規申請の場合は、会則・会員名簿・予算書・沿革等を添付すること。

* 学生の発表会は、学校の発行するクラブ証明書を添付すること



ミュージカル「バックトゥザ・フーちゃん」開催要項

2013年1月11日

1. 目的

- ① 東日本大震災・福島原発事故を経て、今の時代に私たちがどう生きていくのか、子どもと大人がともに考え合うミュージカルを、多くの市民とともに創り上演すること。
- ② このミュージカル上演を通して、被災地の方々、そして被災地から避難している方々とながらあい、特に子どもたちが未来への展望を持てるようになっていくこと。

2. 開催日時・会場

2013年10月19日(土) 17:30 開場 18:00 開演 (長久手市文化の家・森のホール)
10月20日(日) 13:30 開場 14:00 開演 (長久手市文化の家・森のホール)
2014年1月25日(土) 17:30 開場 18:00 開演 (名古屋市芸術創造センター)
1月26日(日) 13:30 開場 14:00 開演 (名古屋市芸術創造センター)

3. 主催

愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団・親と子のみどりの杜合唱団

4. 後援予定

名古屋市教育委員会・長久手市・日進市教育委員会・みよし市教育委員会・
尾張旭市教育委員会・愛知のうたごえ協議会・中日新聞社ほか

5. 企画

①内容

新作オリジナルミュージカル「バックトゥザ・フーちゃん」公演

②スタッフ

台本・作詞：清水則雄

作曲：藤村記一郎

制作：愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団・親と子のみどりの杜合唱団

指揮：藤村記一郎・山田道子

ピアノ・シンセサイザー：夏目順子・小川真奈・島田利津枝・広江さき

合唱：愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団・親と子のみどりの杜合唱団

演出：いのこ福代

舞台監督：梶野真男 (伽藍堂)

音響：四方あさお (劇団うりんこ)

照明：坂下孝則 (藤井照明)

美術：倉本政典

衣装：後藤優子 (劇団うりんこ)

ダンス・演出助手：下出裕子 (劇団うりんこ)

6. 予算(案)

別紙参照

7. 問い合わせ先

<事務局>

藤村記一郎 〒 長久手市 TEL・FAX:

E-mail: kiichiro2003@ybb.ne.jp

<合唱団>

愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団・団長 清水則雄

〒 春日井市

TEL/FAX:

親と子のみどりの杜合唱団・団長 加納尚美

〒 日進市

TEL/FAX:

親と子のみどりの杜合唱団 規約

1. 名 称 この合唱団を「親と子のみどりの杜合唱団」とする。(以下「合唱団」という)
2. 目 的 この合唱団は、歌うことを通して音楽に親しみ、その楽しさを地域の人々にも広げることと、音楽を通してより多くの人々に、平和や命の大切さ、人が共に生きる喜びを伝えることを目的とします。
3. 事 業 この合唱団は前項の目的を達成するために、次の事業を行います。
 - ① 地区や県の合唱発表会への参加
 - ② 自主コンサートの開催
 - ③ 創作活動
 - ④ その他必要と認めた事業
4. 団 員 この合唱団の目的に賛同し、音楽を愛好する大人と子どもなら、だれでも団員になれます。団員は定められた団費を払い、合唱団の活動・練習に参加します。
5. 役 員 この合唱団に次の役員を置きます。

団 長	1 名	事務局長	1 名
会 計	1 名	運営委員	若干名
6. 総 会 この合唱団は毎年1回総会を開きます。総会ではこの合唱団の
 - ①活 動 ②会 計 ③役 員 ④その他に関わることを決定します。

7. 運営委員会 この合唱団の運営に必要な会務は、総会で承認された役員で構成された運営委員会で協議し、執行に必要な措置をとることができます。
8. 事務局 この合唱団の事務局は団長宅に置きます。
9. 財 政 この合唱団の財政は、団費および寄付などでまかないます。団費は月額大人 2,500 円、子ども 1,500 円とします。また事前に連絡があった場合には休団費 300 円で一カ月単位での休団を認めます。
- ただし、コンサート実行委員会など他団体と共催で事業を実施する場合は、通常の合唱団会計とは独立した事業会計で行ないます。
10. その他 この合唱団の運営について、協議事項が生じた場合は、役員および団員による運営委員会に諮るものとします。

親と子のみどりの杜合唱団概要

『親と子のみどりの杜合唱団』は18年前、「地域に親と子、あるいは大人と子どもが一緒に活動できる合唱団が欲しい」という声に応え、日進市を中心として近隣の長久手町・豊明市・東郷町・名古屋市・瀬戸市などに住む、歌が大好きな仲間が集まって発足しました。子どもには、年齢や学区を超えた仲間との出会いの場・休日の活動の場を、大人には、合唱を通して地域の人たちと交流する場を作りたいという思いがありました。団員の構成は親子を中心に、5歳から60代までの幅広い年齢層に渡っています。

今日まで、創作や歌うことを通した文化発信の拠点として、地域に根ざした活動が続けてきました。また、地域の合唱団相互の交流や、他団体との協力、地元大学の大学祭への参加などにも積極的に取り組んできました。

- ・現在団員数は32人（2013年3月現在）
- ・団員の構成は、子ども7人・大人25人
- ・団長 加納尚美

【指導者】

合唱指導 藤村記一郎、山田道子
ピアノ 広江さき、島田利津枝
発声指導 山田道子

【これまでの活動概略】

- 1994年 9月11日 親と子のみどりの杜合唱団主催 「集まれ!日進の音楽家たち」コンサート
藤村記一郎作曲 合唱構成「ピカドンたけやぶ」上演 於 日進市民会館
- 1995年 5月28日 親と子のみどりの杜合唱団主催
第一回「メロディ・フェア」の実施 於 白山幼稚園
- 1995年 11月25日 被爆・戦後50年 「日本のうたごえ祭典」出場
- 1996年 7月14日 親と子のみどりの杜合唱団主催
第二回 「メロディ・フェア」の実施 於 白山幼稚園
海上の森にて、団内創作に取り組む 愛唱曲集『海上の森』全8曲の完成
- 1999年 6月13日 親と子のみどりの杜合唱団主催
藤村記一郎作曲・清水則雄作詞 合唱構成『ぞうれっしゃがやってきた』コンサート
9月 日進市合唱連盟主催『日進音楽祭』に出演。以後、毎年参加
- 2000年 9月 日進市合唱連盟主催『日進音楽祭』にて
藤村記一郎作曲・清水則雄作詞 合唱組曲『とべないほたる』を上演
- 2001年 6月 名古屋市『愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団』主催
国際交流コンサート『ぞうれっしゃがやってきた〜地球をむすんで〜』参加
- 2002年 12月 日進合唱団合同クリスマス・コンサート 於 日進市民会館
12月22日 ミュージカル『雪ん子十二郎』公演 於 日進市民会館
藤村記一郎作曲・田中寛次／本田忠勝作詞
- 2004年 4月4日 親と子のみどりの杜合唱団主催 於 岩崎台・香久山福祉会館
10周年記念コンサート「メロディ・フェア」の実施
- 2005年 6月4,5日 創作ミュージカル『サラサとルルジ』初演 於 長久手町文化の家森のホール
藤村記一郎作曲・佐々木淑子作詞
- 2006年 6月 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団主催
「ぞうれっしゃがやってきた」国際交流コンサートに団として参加 於 愛知県勤労会館
- 2007年 7月8日 藤村記一郎作曲・清水則雄作詞 合唱組曲『とべないほたる』公演
於 日進市民会館
- 2008年 7月 にっしん平和の集いにて 原文「おばあさんから孫たちへーみやぎの戦争ー」
編詩・作曲 小林康浩 合唱組曲「おばあちゃんから孫たちへ」を上演 於 日進市民会館
- 2009年 11月29日 ゾウ列車が走って60年「記念音楽会」に団として参加
12月26・27日 合唱ミュージカル『グリックの冒険』初演 於 日進市民会館
斎藤惇夫原作・藤村記一郎作曲・清水則雄作詞

2011 年 3 月 13 日 親と子のみどりの杜合唱団主催

2011 全国教育のうたごえ祭典 i n あいち プレ企画

合唱組曲『子どもの人権宣言』上演 於 日進市民会館

2012 年 12 月 1・2 日 合唱ミュージカル「ぞうれっしゃがやってきた」上演 於 日進市民会館

そのほか、地域の集まりでの発表や施設の訪問・団内創作合宿などを行っています。

【連絡先】

事務局・担当 加納尚美

長江弘子

役職	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
団長	加納尚美			
事務局長	長江弘子			
事務局	山田麻千子			
会計	武久貴美			
会計	水口由里子			
	杉山夕子			
	中林富子			
	水野妙子			
	三宅みつ子			
	西尾多喜子			
	丸山真伊			
	太田裕介			
	角直子			

愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団規約

1. 私たちの合唱団の名前は「愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団」です。

(以下、合唱団と呼びます。) 1977年6月に前身である「愛知教職員合唱団」が誕生し、1985年3月、現在の名前に変わりました。

2. 合唱団のみんなの合言葉(趣旨)は次の2つです。

①子どもの幸せと平和を願ううたを創り、響かせ、広げよう。

②子どもの幸せと平和を願うすべての人たちと手をつなぎ、より良い文化をつくり広げよう。

3. 合唱団は団員と後援会員で成り立っています。

4. 合唱団の趣旨に賛同できる人なら、年齢、経験を問わず、誰でも団員となることができます。団員は練習に参加し、団費を納め、総会に参加します。団員の継続については、毎年総会で確認します。

入退団については、随時、届けを団長に提出します。

5. 合唱団の練習には参加できなくても、趣旨に賛同し、合唱団を物質的、精神的に援助していただける意志のある方は、誰でも後援会員となることができます。後援会員の期間は別に定める後援会費を納めた日より翌年の総会までとし、継続については、毎年合唱団の総会で確認します。

6. 合唱団の定例練習日は、毎月第1・第3日曜日の13:30~16:30です。

その他に、土曜日や日曜日に1~2回程度、練習を入れます。

7. 合唱団の最高決議機関は総会です。総会は団員と後援会員によって構成します。定期総会は原則として毎年9月に団長の召集によって開催します。

8. 総会に次ぐ決議機関は、運営委員会です。運営委員会は月1回程度開きます。

9. 毎月の団費は、一般3000円、65歳以上2000円、学生・子ども・障害者1000円です。

また、家族で参加の場合は、家族割引団費になります。

後援会費は一口年額2000円です。

10. 規約の改正は総会で行います。

’91年8月 制定 ’93年9月 改定 ’01年9月 改定 ’03年9月 改定

2011年12月 改定

2012年愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団体制

2012. 9. 23

団長（清水則雄） 副団長（ ）

<演奏創造局>

演奏創造局長（家田麻里）

●練習運営

◎指揮者（藤村記一郎）（脇谷直樹）

◎パートリーダー

ソプラノ（古澤敦子）（井本富子）・アルト（脇谷裕乃）男声（一色昭正）

子どもリーダー（壺内優希）・サブリーダー（新美希実）・書記（對比地秋葉）（赤木萌絵）

子ども担当（赤木香里）（加藤智子）

◎ピアニスト（夏目順子）（小川真奈）

◎発声指導者（鳴海 卓）

◎楽譜管理・ニュース管理（脇谷裕乃）

●創作

◎団内創作（脇谷裕乃）（脇谷直樹）（一色昭正）（林道子）（林明子）

★ミュージカル創作プロジェクト（清水則雄）（藤村記一郎）（林道子）（井本富子）（赤木香里）

<事務局>

事務局長（藤村記一郎）

- ニュース（清水則雄）（藤村記一郎）（ ）持ち回り
- 会計（永見加代子）（林明子）
- 会場とり（三浦節子 Cap）（佐藤るみ子）（佐伯知保）（永見加代子）（鈴木友子）（家田麻里）（林道子）（松田久子）
- 練習受付・出席簿管理・練習参加確認表（阿知和公子）
- 団員名簿作成（林道子）
- パートマネージャー
ソプラノ（對比地三枝）（永見加代子）・アルト（三浦節子）（鈴木孝子）
男声（松本允韶）・子ども担当（赤木香里）（加藤智子）
- 交流・ツアー（清水則雄・伊藤千手子・・・日うた）（脇谷裕乃・清水則雄・・・教育）
- あ・そ・ぼ係（林明子）
- うたごえ新聞（安藤教子）
- 事業・・・幸せグッズ（脇谷裕乃）
- 団員募集（藤村記一郎）
- 後援会（清水則雄）（林道子）
- ホームページ管理（一色昭正）
- メーリングリスト管理（一色昭正）
- 愛知のうたごえ協議会渉外（山口直子）（藤村記一郎）
- 全国教育のうたごえ協議会渉外（脇谷裕乃）（藤村記一郎）
- 全国ぞうれっしゃ関係渉外（藤村記一郎）（清水則雄）（石原則義）

【運営委員会】上記各係の皆さん全員（ピアニスト・発声指導者を除く）。

清水・山口・藤村・脇谷な・古澤・井本・脇谷た・一色・赤木・加藤・林み・林あ・安藤の・永見・三浦・鈴木と・阿知和・家田・鈴木た・對比地・松本・佐伯・松田

<会計監査>（阿知和公子）

★ 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団 略年表

- 1977年:愛知教職員合唱団として、設立。以来「大きな樹」の演奏、「光れ中学生」(作詞:佐伯洋)「青春は嵐の中に」(作詞:大樹伸＝清水則雄)創作・初演
- 1985年:「愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団」と改名
- 1986年:合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」(原作:小出隆司/作詞:清水則雄)を創作・初演
- 1987年:合唱団オリジナル愛唱歌 CD「おばけの涙」出版。
- 1988年:「ぞうれっしゃがやってきた」オーケストラ版公演(愛知県勤労会館)
- 1990年:合唱組曲「子どもの人権宣言」(作詞:清水則雄)創作・初演
- 1992年:愛知芸術文化センターのコンサートホールにて「ぞうれっしゃがやってきた」の一部を、初のプラスバンド伴奏(蒲郡市吹奏楽団)で演奏。
- 1993年:藤村記一郎作品コンサート 合唱組曲「恐竜の伝言」(作詞:門倉さとし)、合唱劇「ピカドンたけやぶ」(原作:はらみちを/脚本:小田健也)他、30曲以上を、20以上の合唱団、演奏家とともに演奏。
- 1995年:合唱組曲「ちいちゃんのかげおくり」(原作:あまんきみこ/作詞:佐伯洋)改作・演奏
- 1997年:合唱組曲「とべないホテル」(原作:小沢昭巳/作詞:清水則雄)創作・初演
- 1999年:ぞうれっしゃが走って50周年記念音楽会にて 合唱組曲「ぞうのつばさで」を創作・初演。そして690人の「ぞうれっしゃ」
- 2001年:6月、日本に住む外国の人との文化交流をしながら「ぞうれっしゃがやってきた」の国際交流コンサート(国内版)
- 2001年:8月、ぞうのふるさとタイでの交流(ホームステイ)と「ぞうれっしゃ」タイ公演
- 2001年:10月、韓国にて「世界ソリ祝祭」招聘・日本のうたごえ合唱として「ぞうれっしゃ」韓国公演
- 2001年:12月、「臨時教員問題の改善を求める会」とのジョイントコンサート、音楽会「学校」も開催
- 2002年:8月4日「合唱組曲『ぞうのつばさで』改作・初演 ～アジアの風を感じて～ ゲスト『ZUZU(スースー)』タイ発・生きるための歌 名古屋初上陸!」を開催
- 2003年:ホテルの里と言われる町<滋賀県山東町>にて「とべないホテル」の演奏+ホテル鑑賞が実現。またその縁で11月に小学校公演。
- 2004年:4月、愛唱歌と「とべないホテル」を中心にミニコンサート「みちくさコンサート」を開催。
- 2005年:7月、戦後60周年に、合唱劇「ピカドンたけやぶ」を12年ぶりに再演。8月には、豊川親子合唱団たけのこと共に広島での公演。10月、合唱団オリジナル CD・学童保育所応援歌「放課後のおうち」出版。
- 2006年:6月、「ぞうれっしゃ」初演20年・絵本初版30年記念の国際交流コンサートを開催。10月には中国・南京への「ぞう」音楽文化交流ツアー。南京市の5つの合唱団と「ぞうれっしゃ」合同演奏(南京芸術学院ホール)。南京市赤壁路小学校でも交流コンサートで「ぞうれっしゃ」演奏。
- 2007年:11月、他の合唱団と共同で合唱劇「カネト」名古屋初演音楽会開催。
- 2008年:7月、他の合唱団と共同で合唱劇「カネト」旭川公演に参加。
- 2009年:3月、名古屋南京友好都市30周年記念行事開催(実行委員会)
- 2009年:本物のゾウ列車が走って60周年記念行事(7月 東山動物園)、記念音楽会(11月 愛知県勤労会館)開催。
- 2010年:7月「ぞうれっしゃがやってきた」子ども版 CDブック(音楽センター出版)録音・発行。11月、インドのボーンフリーアートスクールで「インド版ぞうれっしゃ」仮レコーディング。
- 2011年:5月「インド版ぞうれっしゃ」本番用 CDレコーディング。8月「2011全国教育のうたごえ祭典 in あいち」を実行委員会として開催。インドのボーンフリーアートスクールメンバーを他団体と共に日本に招聘、広島・福岡・長崎・大阪・名古屋・東京にて「インド版ぞうれっしゃ」など公演をプロデュース。
- 2012年:6月、合唱団オリジナル愛唱歌 CD・楽譜集「えのぐたち」出版。
- 2013年:1月、名古屋南京友好都市35周年記念音楽会開催(実行委員会)

ミュージカル「バック・トゥ・ザ・フューちゃん」みどりの社公演予算案2013/1/20

[収入]

2st. 1030人

演劇②633席(1F507席・2F126席)

区分	費目	2st. 金額	内訳	備考
チケット	大人券	1,280,000	2000*640	
	子ども券	390,000	1000*390	
	親子券	0	0	
	小計	1,670,000		
その他	広告料	250,000	5,000*50	
	協賛金	100,000	1000*100	
	雑収入	0		
	小計	350,000		
	合計	2,020,000		

[支出]

区分	費目	2st. 金額	内訳	備考
舞台関係経費	会場費	200,000		全日73500×2+15750(午後夜間)×30% 楽屋5700×2 ピアノ使用料6300×3
	付帯設備	100,000		
	大道具・小道具	100,000		10月、1月合計で20万円
	衣装	50,000		10月、1月合計で10万円
	ピアノ調律	15,000		
	予備費	50,000		
	小計	515,000		
	指揮	100,000	藤村	練習謝礼は別
	演出	125,000	いのこ	10月、1月合計で25万円
	演出助手・ダンス	90,000	下出	10月、1月合計で18万円
	舞台美術	125,000	倉本	10月、1月合計で25万円
	照明	200,000	坂下	19月、1月合計で40万円
	音響	75,000	四方	10月、1月合計で15万円
	ピアノ	60,000		練習謝礼は別
	キーボード	40,000		練習謝礼は別
	舞台監督	50,000	梶野	10月、1月合計で10万円
	予備費	100,000		
	小計	965,000		
制作費	作曲料	150,000		10月、1月合計で30万円
	台本料	90,000		10月、1月で18万円
	著作権料	0		初演
	小計	240,000		
その他経費	プログラム印刷	60,000		みどり公演分のみ
	チラシ印刷	50,000		みどり公演分のみ
	チケット印刷	40,000		
	事務通信	30,000		
	託児・保険	10,000		
	スタッフ弁当代	35,000	のべ50個	
	接待費	20,000		講師約10人分打ち上げ@2000
	予備費	55,000		
	小計	300,000		
	支出合計	2,020,000		

ミュージカル「バック・トゥ・ザ・フウちゃん」 幸せ公演予算案

[収 入]

2st. 1030人

640席(1F490席・2F150席)

区分	費 目	2st. 金 額	内 訳	備 考
チ ケ ッ ト	大 人 券	1,600,000	2000*800	高校生以下・障がい者
	子ども 券	184,000	800*230	
	小 計	1,784,000		
そ の 他	広 告 料	270,000	5,000*54	
	協 賛 金	400,000	1000*400	
	事業収入	40,000		
	小 計	710,000		
	合 計	2,494,000		

[支 出]

区分	費 目	2st. 金 額	内 訳	備 考
舞 台 関 係 経 費	会 場 費	370,000		全日140000×2+90000(前日1日)
	付帯設備	260,000		リハーサル室12600(1日)×2 ピアノ使用料31200×2
	大道具・小道具	100,000		10月、1月合計で20万円
	衣 装	50,000		10月、1月合計で10万円
	ピアノ調律	15,000		
	予備費	50,000		
	小 計	845,000		
	指 揮	100,000	藤村	練習謝礼は別
	演 出	125,000	いのこ	10月、1月合計で25万円
	演出助手・ダンス	90,000	下出	10月、1月合計で18万円
	舞台美術	125,000	倉本	10月、1月合計で25万円
	照明	200,000	坂下	19月、1月合計で40万円
	音響	75,000	四方	10月、1月合計で15万円
	ピアノ	60,000		練習謝礼は別
	キーボード	40,000		練習謝礼は別
	舞台監督	50,000	梶野	10月、1月合計で10万円
	予備費	250,000		
	小 計	1,115,000		
制 作 費	作 曲 料	150,000		10月、1月合計で30万円
	台 本 料	90,000		10月、1月で18万円
	著作権料	0		初演
	小 計	240,000		
そ の 他 経 費	プログラム印刷	60,000		幸せ公演分のみ
	チラシ印刷	50,000		幸せ公演分のみ
	チケット印刷	40,000		幸せ公演分のみ
	事務通信	30,000		
	託児・保険	10,000		
	スタッフ弁当代	35,000	のべ50個	
	接待費	20,000		講師約10人分打ち上げ@2000
	予備費	49,000		
	小 計	294,000		
	支出合計	2,494,000		

新作オリジナルミュージカル

バックトゥー フーちゃん

台本／清水則雄 作曲／藤村記一郎

演出／いのこ福代

主催・制作／親と子のみどりの社会合唱団

愛知子どもたちの幸せと平和を願う合唱団

後援／名古屋市教育委員会・愛知県教育委員会
中津川市・長久手市・尾張旭市教育委員会・日進市教育委員会・
東郷町教育委員会・みよし市教育委員会・中日新聞社ほか

結団式

2013年3月20日(祝)

長久手交流プラザ

●4:00～

長久手市岩作東中1番地の3
NTT長久手電話交換所 南隣
★お車は市役所駐車場へどうぞ
駐車場から徒歩3分

2013年10月19日(土) 20日(日)

長久手市文化の家 森のホールで公演

2014年 1月25日(土) 26日(日)

名古屋市芸術創造センターで公演

キャストオーディション

2013年4月27日(土)

28日(日)

合宿練習／愛知県民大会館2階

地下鉄東山線「新栄町」駅から

徒歩2～3分

合唱経験・舞台経験のない人でも

おとなも こどもも大丈夫！

ただいま 団員大募集中！！

おとり

親と子のみどりの社会合唱団

oyatokonomidorinomeri.net

お問い合わせ Secretariat@oyatokonomidorinomeri.net 合唱団の団長へ転送されます

0563-33-3978(長久手)

090-6459-4773(加納) (夜間)



NO NUKES!! ミュージカル 『バックトゥザ・フーちゃん』への思い

東日本大震災・福島第1原発爆発事故によって、たくさんの方々が家族を、仕事を、学校を、ふるさとを奪われ、いま、愛知県にも多くの方々が避難してられています。しかし、東北からの距離や時間の経過とともに、忘れ去られていくことを恐れています。震災も原発事故も決して他人事ではありません。

私たちは大人と子どもで一緒につくる合唱団として「今の時代に合唱を通して何かできるのか」を考えてきました。その結果、子どもも大人も大好きなミュージカルで、今の私たちの思いを表現しようとしてこの作品づくりに入りました。

1986年以来「そうれっしゃがやってきた」をはじめ、いくつかの大人と子どもで一緒に作る合唱の舞台で、大人と子ども、特に家族と一緒にこのような歴史的な出来事や物語を演じること（疑似体験）を通して、表現する喜びや達成感を感じながら、歴史を語り継ぎ、人と人とがつながりあい、家族のきずなをつくっていけることを実感してきました。

今回は、特に被災地やそこから避難してきている方々ともつながりあい、子どもたちが未来への展望を持って生きていけるように、との思いで取り組んでいます。

とある原発がある町、小学校の仲良しグループ「フーチャンズ」はある日、転校生のノンちゃんをさそって町の近くの天狗山に登りますが山からの下山途中道に迷ってしまいます。そして、かれらのたどり着いたのは一軒の山荘。町の人たちから幽霊博士と呼ばれている元大学教授が住んでいます。

山荘の奥の研究室と書かれた、なにやら怪しげな部屋に子どもたちがそっと忍び込むと、得体の知れない機械が・・・それは博士が作ったタイムマシン。博士のいない隙に子どもたちはタイムマシンにさわって機械が動き出してしまいます。あわてて止めたに入った博士と一緒に子どもたちは40数年前の町にタイムスリップします。

子どもたちの住んでいる町の1960年代、まだ原発が出来る前。グループのリーダー、フーちゃんは自分の家をたずねます。そこには両親はまだ居ず、若い祖父母がいました。フーちゃんは原発の危険、大地震のことなどを訴えますが、祖父母は「なんでそんなことを自分たちに訴えるのか」といぶかしがるばかり。そこで、フーちゃんたちは町会議員のところに行き訴えるが、「原発反対の連中に吹き込まれたのだろう」と怒り出す。フーちゃんたちは思いきって、町長のところに行き訴えるが、「原発は安全で、町の過疎化を食い止めるためにどうしても誘致する必要がある」と聞き入れない。

転校生のノンちゃんは叫ぶ

「原発事故はおきるんです！」

ノンちゃんは、原発事故がおきた福島からの転校生だったのです・・・。

合唱／親と子のみどりの杜合唱団 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団 指揮・指導／藤村記一郎・山田道子

STAFF ピアノ・シンセサイザー／山田道子・島田利津枝・広江さき・夏目順子・小川真奈 演出／いのご福代 舞台監督／梶野真男
音響／四方あさお 照明／坂下孝則 美術／倉本政典 衣装／後藤優子 振り付け／下出裕子 イラスト／大知里由

親と子のみどりの杜合唱団とは

『親と子のみどりの杜合唱団』は19年前、「地域に親と子、あるいは大人と子どもと一緒に活動できる合唱団が欲しい」という声に応え、日進市を中心として近隣の長久手市・豊明市・東郷町・名古屋市・瀬戸市などに住む、歌が大好きな仲間が集まって発足しました。

団費 大人2500円 子ども1500円（月額）

親子・兄弟で参加の場合は家族割引あり

年齢・性別・経験は一切問いません。

未就学児についてはご家族も一緒にご参加ください。



2005年
ミュージカル「サラサとルルジ」
創作初演



2009年
ミュージカル「グリックの冒険」
創作初演

練習日程 午前／9:45～12:00 午後／13:45～16:30 夜／18:45～21:00

3月 9日 土 夜 長久手交流プラザ
3月 20日 祝 午後 結団式 長久手交流プラザ
3月 31日 日 午後 香久山福祉会館
4月 7日 日 午前 長久手交流プラザ
4月 20日 土 夜 長久手交流プラザ
4月 27日 土 28日 日 愛知県民大会館
合同合宿練習・オーディション

長期予定

8月 3日 土 集中合同練習
8月 11日 日 一部上演 尾張旭市文化会館
2013愛知のうたごえ祭典 in 尾張東部
10月 6日 日 集中合同練習
10月 12日 土 13日 日 集中合同練習
10月 19日 土 20日 日 コンサート <長久手市文化の家・森のホール>
2014年
1月 18日 土 19日 日 集中合同練習
1月 25日 土 26日 日 コンサート <名古屋市芸術創造センター>

※長久手交流プラザへお車でのご越しの際は、市役所駐車場に駐車してください。

新作オリジナルミュージカル公演

台本/清水則雄 作曲/藤村記一郎

主催・制作/親と子のみどりの社会唱団・愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団

後援/名古屋市教育委員会・愛知県教育委員会

次世代の子どもたちの“いのち”“くらし”“エネルギー”を考える会

<以下申請中>尾張旭市教育委員会・長久手市教育委員会・日進市教育委員会

東郷町教育委員会・みよし市教育委員会・中日新聞社ほか

バックトゥザ フーちゃん

2013年10/19(土) 20(日)

長久手市文化の家・森のホール

2014年1/25(土) 26(日)

名古屋市芸術創造センター

☆結団式

ここからスタートです!

2013年3/24(日)

13:30-16:30

名古屋市中生涯学習センター

地下鉄「上前津」駅から徒歩7-8分

☆キャストオーディション

2013年4/27(土)

28日(日) 合宿練習

愛知民主会館2階

地下鉄「新栄」駅から徒歩

徒歩2-3分

合唱、舞台経験のない人でも大丈夫!

子ども・大人合唱団員/キャスト大募集!

<http://music.geocities.jp/kodomoshiawase/kodomo>

東日本大震災・福島第1原発爆発事故によって、たくさんの方々が家族を、仕事を、学校を、ふるさとを奪われ、今、愛知県にも多くの方々が避難して来られています。しかし、東北との距離や時間の経過とともに、忘れ去られていくことを恐れています。震災も原発事故も決して他人事ではありません。

私たちは大人と子どもで一緒につくる合唱団として「今の時代に合唱を通して何ができるのか」を考えてきました。その結果、子どもも大人も大好きなミュージカルで、今の私たちの思いを表現しようとする作品づくりに入りました。

1986年以来「ぞうれっしゃがやってきた」をはじめ、大人と子どもで一緒に作る合唱の舞台、特に家族で一緒にこのような歴史的な出来事や物語を演じること(疑似体験)を通して、表現する喜びや達成感を感じながら、歴史を語り継ぎ、人と人とがつながりあい、家族のきずなをつくっていただけることを実感してきました。

今回は被災地や被災者の方々ともつながりあい、子どもたちが未来への展望を持って生きようとするように、との思いで取り組んでいます。

●とある原発がある町。小学校の仲良しグループ「フーちゃんズ」は、ある日転校生のノンちゃんをさそって近くの日輪山に登りますが、途中で道に迷ってしまいます。たどり着いたのは一軒の山荘。町の人から幽霊博士と呼ばれている元大学教授が住んでいます。
●奥には研究室と書かれた怪しげな部屋が。忍び込むと、えたいの知れない機械。それは博士が作ったタイムマシン。博士は子どもたちを部屋から追い出し、機械にさわるなと命じます。しかし博士のいないすきに子どもたちはマシンにさわって止めた博士と一緒に子どもたちは40数年前にタイムスリップします。



●子どもたちの住んでいる町・1960年代はまだ原発ができる前。フーちゃんたちは分たちの家へ。そこには若い祖父母が。フーちゃんは原発の危険、大地震のなどを訴えますが、「フーちゃんどこから来たんだねのか」、「なんそんなことを自分たちに訴えるか」といぶかしがるばかり。町会員のところに行きますが、「原発対の連中、こんな小学生を利用とはけしからん」と怒り出す。町長は「原発は安全で、町の過化を食い止めるためにどうしても致する必要がある」と。ノンちゃん叫びました。「原発事故はおきるんです!」。ノンちゃんは、福島からの転校だったのです……。

合唱/親と子のみどりの杜合唱団
愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団
指揮/藤村記一郎・山田道子

START

演出/いこの福代 舞台監督/梶野真男 音響/四方あさお 照明/坂
美術/倉本政典 衣装/後藤優子 ダンス・演出助手/下出裕子

LESSON SCHEDULE

PM→13:30~16:30 N→17:30~20:30

2/3 (日) PM 名古屋市生涯学習センター
2/11 (祝月) 講演会の中で一部演奏
「フクシマこの時代を生きる」(日進市民会館)
2/23 (土) PM 名古屋市生涯学習センター
3/3 (日) PM 名古屋市生涯学習センター
3/24 (日) PM 生涯学習センター<結団式>
4/6 (土) N 生涯学習センター
4/13 (土) N 生涯学習センター
4/27 (土) PM・N~28 (日) AM・PM 愛知民主会館(新栄)
合同合宿練習・オーディション

■長期予定
8/3 (土) AM/PM/N 集中合同練習
8/11 (日) 1部上演 尾張旭市文化会館
(2013愛知のうたごえ祭典in尾張東部)
10/6 (日) AM/PM/N 集中合同練習
10/12 (土)・13 (日) AM/PM/N 集中合同練習
10/19 (土)・20 (日) コンサート
<長久手市文化の家・森のホール>
2014年1/18 (土)・19 (日) AM/PM/N 集中合同練習
1/25 (土)・26 (日) コンサート<名古屋市芸術創造センター>

愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団とは

1977年愛知教職員合唱団として創立。1985年に現在の名前に改称。
合唱団の趣旨に賛同される方ならだれでも入れます。年齢・性別・国籍など問いません。
団費は一般月額3000円、65歳以上2000円、子ども・障害者1000円。家族参加の割引制度あり。
指揮者は「ぞうれっしゃがやってきた」「カネト」など作曲の藤村記一郎です。
「ぞうれっしゃがやってきた」作詞の清水則雄が団長です。
今までに「ぞうれっしゃがやってきた」「子どもの人権宣言」とべないホテル「ぞうのつばさで」などを創作初演。

(様式2)

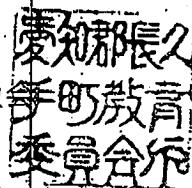
22長生第 387 号

平成22年12月16日

親と子のみどりの杜合唱団

代表 長江 弘子 様

長久手町教育委員会



推薦名義使用について (通知)

平成22年11月24日付けにて依頼のありましたこのこと(親と子のみどりの杜合唱団「子どもの人権宣言」コンサート)については、承認します。

なお、下記により必要事項については、本委員会に連絡されるよう申し添えます。

記

- 1 申請内容に変更が生じた場合は、連絡すること。
- 2 開催事項、ポスター、ちらし、招待状、新聞掲載記事など、本件関係印刷物を提出すること。
- 3 事業完了後、別紙により10日以内に報告すること。

※ 推薦名義使用に際し、申請内容と実際内容とに相違があった場合、または推薦事業としてふさわしくない行為があった場合は直ちに承認は取り消され、今後一切の後援・推薦はいたしません。

連絡先：長久手町大字岩作字城の内60番地1

長久手町教育委員会 生涯学習課

電話(0561)-56-0627

(様式2)

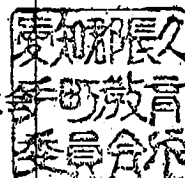
19長社第 79 号

平成19年 3月 6日

親と子のみどりの杜合唱団

代表 長江 弘子 様

長久手町教育委員会



推薦名義使用について (通知)

平成19年3月1日付けにて依頼のありましたこのことについては、承認します。
なお、下記により必要事項については、本委員会に連絡されるよう申し添えます。

記

- 1 申請内容に変更が生じた場合は、連絡すること。
- 2 開催事項、ポスター、ちらし、招待状、新聞掲載記事など、本件関係印刷物を提出すること。
- 3 事業完了後、別紙により10日以内に報告すること。

※ 推薦名義使用に際し、申請内容と実際内容とに相違があった場合、または推薦事業としてふさわしくない行為があった場合は直ちに承認は取り消され、今後一切の推薦はいたしません。

連絡先：長久手町大字岩作字城の内60番地1

長久手町教育委員会 社会教育課

電話 (0561) - 63 - 1111 (内線513)

長久手市教育委員会の後援、推薦審査基準

(行事名 親と子のみどりの杜合唱団「ミュージカル「バックトゥザ・フーちゃん」」)

審 査 項 目		判断（事務局。該当に○印）	
		適	否
催し物の内容	目的が明確なものか	○	
	時代の進歩に応じているものか	○	
	生活、経験、興味に即しているものか	○	
	教養を高め文化の向上に資するものか	○	
	豊かな情操を養うものであるか	○	
催し物の目的その他	営利を目的としていないか	○	
	有料である場合、料金が情勢に即しているか	○	
	風紀上好ましくないものでないか	○	
	商業的又は政治的な宣伝を意図するものでないか	○	
	社会的悪影響を及ぼすおそれのないものであるか	○	
	他の団体の後援又は推薦があるか。特に映画、スライド及び紙芝居の催し物については、「文部科学省選定」又は「文部科学省特別選定」作品であるか	別記	
	その規模が広範囲にわたり、一般市民を対象とするもので、一地区に限られていないか	○	
	有料で後援申請をする場合、国又は地方公共団体の主催又は後援のものであること及び公共的団体が主催するものであること	別記	
	申請時において、料金や催し物の内容が明確になっているか（予定、未定となっていないか）	○	
主催者について	特定の政治団体に関するものでないか	○	
	特定の宗教団体に関するものでないか	○	

別記

親と子のみどりの杜合唱団の推薦名義について

親と子のみどりの杜合唱団 長江氏に聴き取り調査を行いました。(3/27)

愛知県、名古屋市、長久手市、日進市教育委員会、みよし市教育委員会については、既に後援名義が承認されており、東郷町教育委員会、尾張旭市教育委員会、中日新聞については、申請見込みとのことです。

東郷町教育委員会では、事業開催地である長久手市教育委員会の後援または推薦の承認通知の写がなければ、後援名義の申請をすることができないということで、今回、長久手市教育委員会に申請することになりました。

長久手市教育委員会の後援及び推薦に関する審査要綱第4条の(2)のクにおいて、「有料で後援申請をする場合、国または地方公共団体の主催または後援のものであること及び公共的団体が主催するものであること」と定められています。

今回の申請内容は、地方公共団体の後援のものではありますが、公共的団体が主催するものではありませんので、推薦名義の対象とします。